

環境学習コーディネート実施概要（Web 掲載）

依頼No	16	事例No	13	依頼者	あま市	実施場所	蟹江町産業文化会館
実施対象	あま市と海部郡蟹江町合同の環境学習講座参加小学生 25人						
実施日時	平成30年8月17日（金）14時00分～15時30分（1時間30分（サミット発表含））						
テーマ	河川の上下流域にあたる「あま市と蟹江町」で身近な川について調査し、川や自然について考え、自ら行動することを学ぶ						

●依頼内容

ワークショップを楽しみながら、自然に関して学びたい

●講師：特定非営利活動法人 もりの学舎自然学校 代表理事 水谷央氏

自然素材をつかった体験や、自然のお話、プロジェクトWETのアクティビティなど実施可能。愛・地球博記念公園内の親林楽園ゾーンにある、自然体験や工作教室などを通じて、楽しみながら環境について学ぶことができる愛知県環境学習施設・もりの学舎の運営に従事する。

●授業の内容

サミット発表	調査結果の発表会 （町主導で実施）	あま市と蟹江町のグループ毎に調査結果の発表会を行った。 あま市及び蟹江町の小学生を中心にチームが編成され、いろいろなテーマで取り組んだ調査結果を報告した。	40分
ワークショップの実施	講師のあいさつ	インタープリター自己紹介	5分
	鳥のくちばし	とりのくちばしのイメージで、箸を使ってビー玉を「皿からコップ」にうつすゲームを実施した後、「コップから皿」へうつすゲームを実施。くちばしやコップといったものを使って、えさを取る難しさをグループ毎に競争しながら、楽しんで学んだ。こうした野鳥の生態を模したゲームを通して、生きものへの理解を深めた。	20分
	水の循環	サイコロを振っていろいろな水の行き先を決め、その行き先をシートに書き込みながら地下水や湖等や雲、あるいは植物や動物といった水の様々な状態を体験し、水が様々な経路を経ていることを知る体験学習を行った。	20分

●授業の様子

導入部で先行して行われた発表会の感想等を踏まえながら、2つの体験型の学習を行いました。はじめに「大空のオリンピック」と題して、野鳥のくちばしをイメージした、箸でビー玉をつまんで移動させるゲームを行いました。このゲームを通して、鳥がえさを取る難しさを疑似体験し、生き物への理解を深めました。さらに、「驚異の旅」と題して、図柄（雲、川、海、地下水あるいは植物、動物）の描かれたサイコロを振り、その図柄を順次記録しながらそれに従って室内を移動することで水の繋がりや循環に関して理解を深めました。最後に講師により自然の学習に関してまとめがされました。

■くちばしでえさを取る難しさを体験する学習



■水の循環をサイコロの図柄で体験する学習

